

組織・発生学

講師	真鍋 義孝	実施時期 単位数	第1学年前期 1単位 (20時間)	実務経験	—
一般目標 (GIO)	人体の成り立ちを理解するために、細胞や組織の構造とはたらき、人体の初期発生、顔面・口腔・口蓋等の発生、さらに顎顔面領域の奇形について基本的知識を習得する。				
授業概要	人体を構成する細胞や組織の「形態的特徴とはたらき」について学ぶ。 1個の受精卵から細胞、組織、器官、器官系そして人体が形成されるまでの基本的過程(初期発生)について学ぶ。 また、歯科衛生士として診療に欠かせない顔面や口腔領域構造の発生(形成)の基礎を学び、主要な顎顔面領域の形成についても理解する。				
学習方法	講義				
成績評価の方法	必要に応じてレポートおよび小試験を課す。 定期試験(筆記試験)の成績を基本とし、必要に応じて、レポート、小試験の結果を加味して総合的に評価する。筆記試験90%、小テスト、出席状況10%				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版 講義内容を要約したプリントを配布する。				
履修上の注意	人体の成り立ちを理解する上で不可欠な基礎科目です。解剖学、口腔解剖学、口腔組織学、さらには生理学など他の科目と関連させながら、人体の総合的な理解をめざすこと。 授業内容の予習・復習を必ず行うこと。				
参考書	「ひと目でわかるビジュアル人体発生学」 山田重人・山口豊 羊土社 (定価4,000円程度) (イラストが豊富でわかりやすい)				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)					

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1 2	組織・発生学とは、細胞と組織(細胞、細胞小器官、細胞の一生)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科衛生士を志す立場に立って本授業の意義を理解する。 2) 人体を構成する細胞と組織、器官、人体の意味と、これらの関係を概説することができる。 3) 細胞膜の「構造とはたらき」を説明できる。 4) 体細胞分裂の過程を説明することができる。
3 4	細胞の基本的生理機能、組織の特徴(1)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 細胞小器官を挙げ、それらの「構造と生理的機能」を概説することができる。 2) 細胞核の構造的特徴と役割をについて説明できる。 3) 4大組織に属する組織(上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織)の名称を挙げ、それらの役割を簡潔に説明できる。
5 6	組織の特徴(2)、発生(染色体～胚葉形成)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 4大組織(上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織)の基本的構造と機能を具体的に説明できる。 2) 遺伝子、遺伝情報、染色体について、およびこれらの関係について概説できる。 3) 配偶子形成と減数分裂、受精・受精卵の着床について概説し、さらに受精卵から胎児体の基礎となる3胚葉が形成される過程を概説できる。
7 8	発生(染色体～胚葉形成)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 遺伝子、遺伝情報、染色体について、およびこれらの関係について概説できる。 2) 配偶子形成と減数分裂、受精・受精卵の着床について概説し、さらに受精卵から胎児体の基礎となる3胚葉が形成される過程を概説できる。 3) 各胚葉に由来する組織や器官名を挙げることができる。
9 10	胎児の成長と発育、骨の発生、顔面と口腔の発生(腮弓の形成)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 胎児の成長と発育過程を概説できる。 2) 骨の発生の基本を説明できる。 3) 胎児期における鰓弓の形成とその意味を説明できる。